

《蚊・虫刺され対策について》

いつも虫除け対策にご協力ご理解をいただきありがとうございます。

保育園でも蚊・虫刺され対策を行っておりますが、対策をしていても虫刺されしやすい時期と現状です。

引き続き、園でも蚊・虫除け対策をしてまいります。ご自宅でもできる工夫と対策を記載してみましたので、参考にいただけますと幸いです。

【刺されやすい場所】

- ・ たまり水があるところ（蚊の幼虫が発生しやすい）
例）植木鉢の受け皿
放置されたごみや空き缶
木のくぼみ など
 - ・ 風通しの悪いやぶ
 - ・ 草むら
- ↑ ↓
(蚊の成虫が発生しやすい)

刺された時の対処法

- 刺されたことに気づいたらすぐに流水でよく洗う
 - 冷たい流水や保冷材で冷やす
(かゆみを抑える効果があります)
 - かゆみがひどくて掻いてしまうときは、市販のかゆみ止めや、ステロイドの外用薬を使用
(症状が強いときは皮膚科に相談)
- ※保育園では「ムヒ S」、「ムヒベビー」を使用します。
- ※かき壊すと治りが悪くなるだけでなく、夏は「とびひ」にもなりやすいので、早めの対応がポイントです♪

蚊に刺されないためのポイント

- ・ 肌の露出を避ける
※熱中症にも注意しつつ
- ・ 忌避剤（虫除けスプレー等）を使用する
- ・ やぶ、草むらをなくす
- ・ 家や玄関まわり、ベランダなどのたまり水をなくす
- ・ 雨どいや、側溝などのつまりを掃除する
- ・ 自転車の雨よけシート等のくぼみ、たるみをなくす
- ・ 雨水ます、排水ますに昆虫成長制御剤を投入する
- ・ 屋内への侵入をで切るだけ防止する
- ・ 窓を開けっ放しにしない、網戸を使用する



蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つづが虫病・ライム病 など
【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症 など

蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
※長袖・長ズボンを選ぶ
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- 特に注意が必要なのは、ダニに咬まれる危険な場所です。特に、首、腕、足の付け根、手首、足の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症 厚生労働省



ダニ媒介感染症 厚生労働省

